



園 長 中 谷 浩 一

9月12日、道立学校における私物の端末・スマートフォンなどの取扱いについて通知が出ましたが、9月19日にはこども園・保育所などの幼児施設にこどもの性暴力防止に向けた取組や盗撮防止の取組について注意喚起と適切な管理の徹底について通知が出されました。

その通知内容を踏まえて、本園で取り組んでいる内容についてお知らせします。

1 私物端末・スマホ等の持込みについて

職員が私物の端末・スマホ等を園児が活動する場所に持ち込むことはありません。各クラスで園所有のデジタルカメラを所持しており、それを使用して撮影しています。

ただし、次の場合は持ち込むことを許可しています。

(1) 園児の健康や安全確保の観点から直ちに連絡が必要な場合(こども園を離れて活動する場合)など。

2 園児の写真や動画の撮影等について

(1) Iでも触れていますが、私物の端末・スマホ等を用いて園児を撮影することは基本的にありません。

(2) 園児の撮影は、園が所有又は管理する端末やカメラで行っています。教育目的に限ります。

(3) 園児の写真や動画のデータ管理は、外部記録媒体(SD カード等)がある場合、撮影した職員が園所有のデスクトップパソコン、ノートパソコンに接続し、速やかにデータを移動しています。職員以外がアクセスすることはできず、適切に保管しています。

令和7年度前期保護者アンケートについて(回答率74%)

どの項目も「あてはまる」の回答が令和6年度後期を上回る結果になりました。園だよりの後ろに集計結果のグラフを掲載していますのでご覧いただければと思います。

特に**教育保育の内容について・園児のこども園での生活や友だちとの遊び・豊かな資源の中での体験活動・特別な支援が必要な園児への対応**については前回よりも伸び率が高くなっています。一方で、**こどもの人格や個性の尊重・保育に携わる者としての資質や能力・こどもが思いや考えを伝える力・職員の共通理解・子育て支援活動**についてはあまり変化がありませんでした。

保育教諭としてのこどもへの適切な対応については、『全国保育士会』のホームページから保育者自らセルフチェックできる資料を使って自らの保育を振り返るように各学年で取り組んでいます。

ひがしもことこども園のおともだちと交流しました!!

10月17日、本園で芸術鑑賞がありましたが、今年はひがしもことのお友だちと一緒に「大道芸」を観ました。30分ほどの時間でしたが、園児たちはピエロの動きに終始見入っていました。その後、ひがしもことのお友だちと年中組の園児でリズム体操や英語の数字を使って友だち同士で手をつなぐゲームをして楽しく過ごしました。



11月の主な行事予定

*避難訓練(予告なし)があります。



日	曜	行事予定	お知らせ・お願い
3	月	文化の日	お休みです。
4	火	個人懇談(未満児)	7日まで行います
10	月	ALT(年中)運営会議	
12	水	給食担当者会議	園児の嗜好や献立について協議します。
17	月	職員会議	
19	水	お弁当の日	1月に1回、こどもたちが楽しみにしているお弁当です。 
23	日	勤労感謝の日	お休みです。
24	月	振替休日	お休みです。
26	水	お誕生会 研修日	11月生まれのお友だちの誕生会です。みんなでお祝いします。先生方のお勉強の日です
28	金	保護者部会 17:30	12月6日の「はっぴょうかい」における打ち合わせです。

開園記念



10月1日でこども園は5周年を迎えました。紅白のお餅とおやつをまいてお祝いをしました。1日1日を大切に過ごしましょう。

1学期終業式



こども園での生活や遊びの中でいろいろな経験を積み重ねて少しずつ成長を見せています。

お祭り給食



地域のお祭りの時期に行われるイベント給食。各部屋ではスペシャルなメニューに満足げな表情がたくさんありました。調理さんに感謝の気持ちも伝えていました。

収穫(芋ほり)



今年のJA青年部の皆さんとの食育活動もフィナーレを迎えようとしています。この日(10月3日)は芋ほりです。コンテナ1箱分の大小の芋が土の中から出てきました。



空港見学



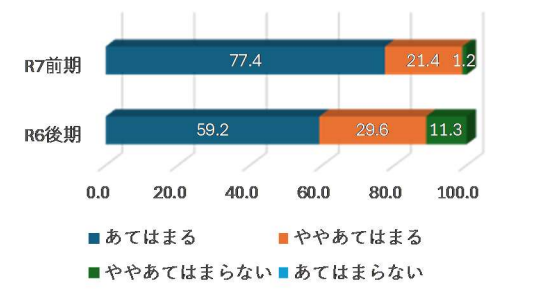
5歳児はANAさんの配慮により、女満別空港でいろいろな体験をしてきました。

令和7年度前期保護者アンケート集計結果

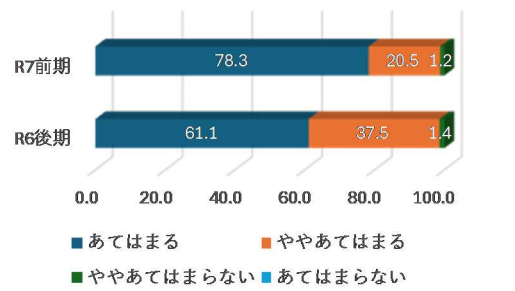
回答率74%

*昨年度(R7年2月10日実施)の保護者アンケートとの比較です。

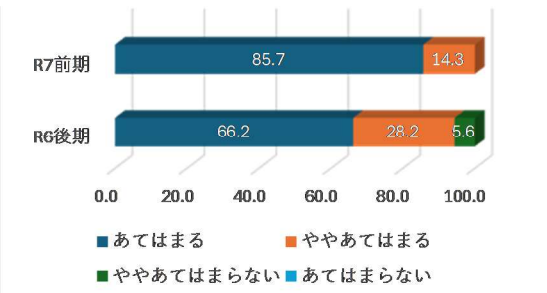
教育及び保育が園の目標を目指した内容になっている



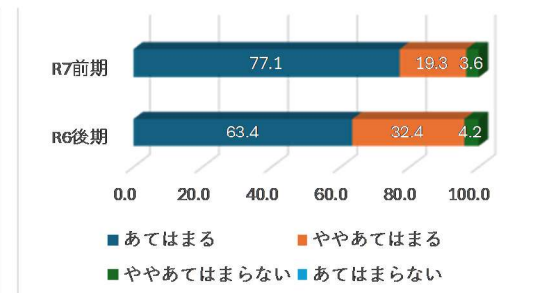
いろいろなお友だちと伸び伸びと楽しんで遊んでいる



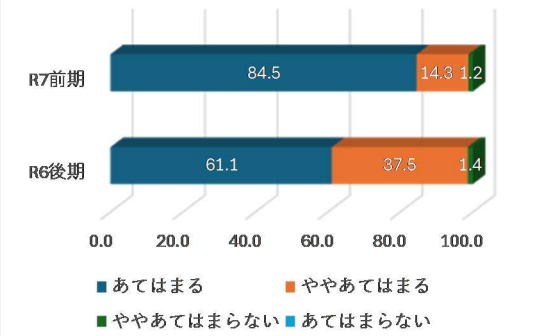
豊かな自然の中で、地域資源を活用した指導に努めている



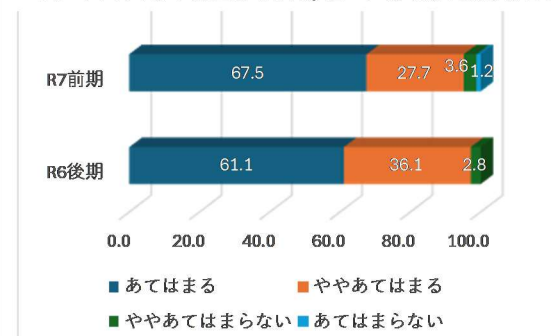
特別な支援が必要な園児に寄り添った教育及び保育に努めている



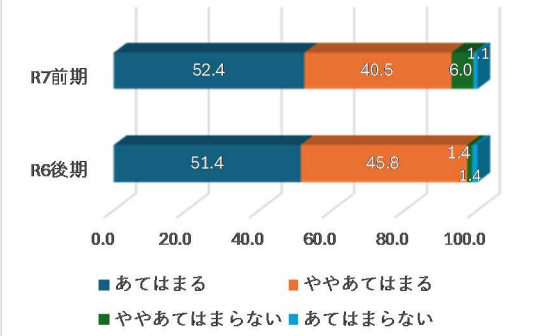
こども園の生活全体を通して楽しく過ごしている



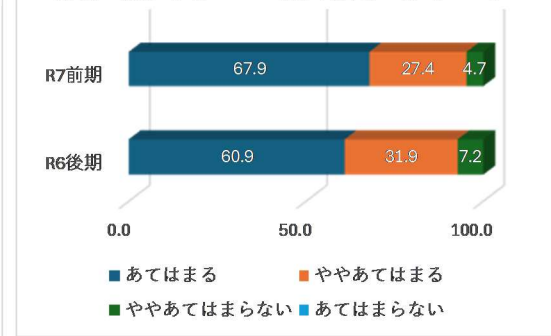
一人一人の人格や個性を尊重し、個々に寄り添った指導をしている



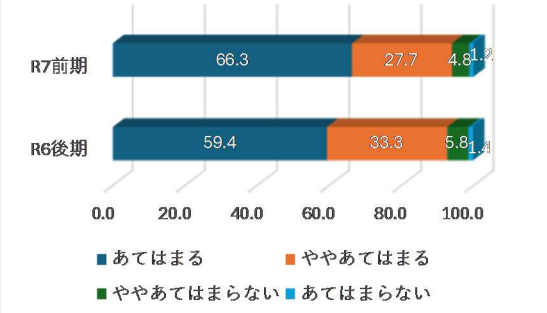
自分の思いや気持ちを言葉や態度で伝えることができる



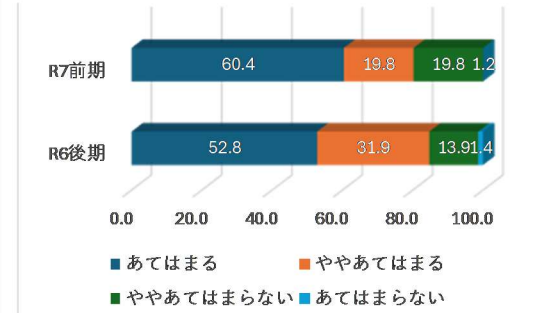
保育に携わる者として適切な指導に努めている



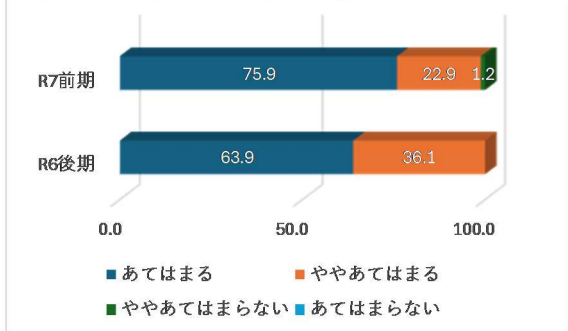
職員が共通理解の下、教育及び保育に努めている



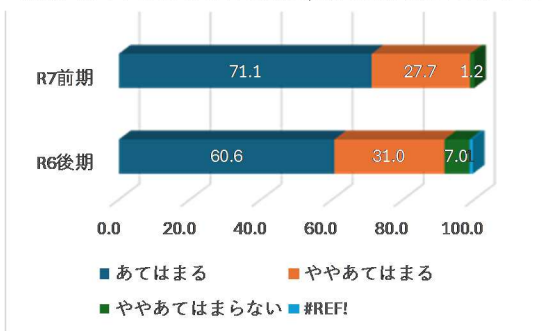
地域や保護者の実情や要望による子育て支援活動に努めている



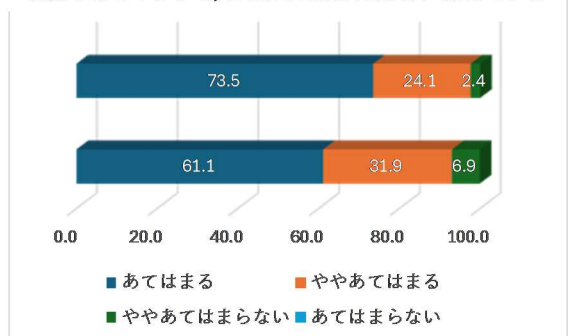
教育及び保育が園の目標を目指した内容になっている



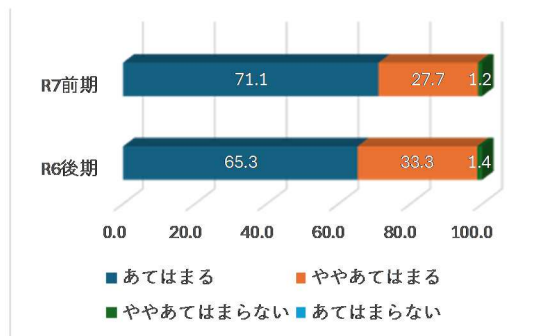
園児の生命尊重などを徹底し、快適な園運営を行っている



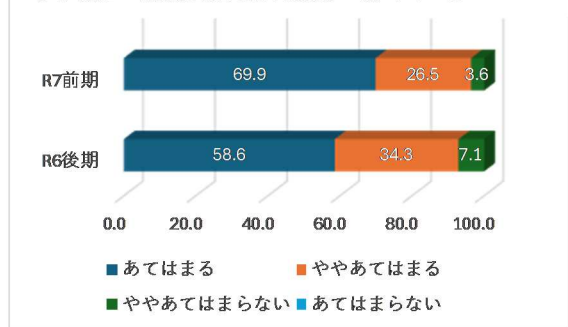
環境と関わりながら、体験を重視した指導に努めている



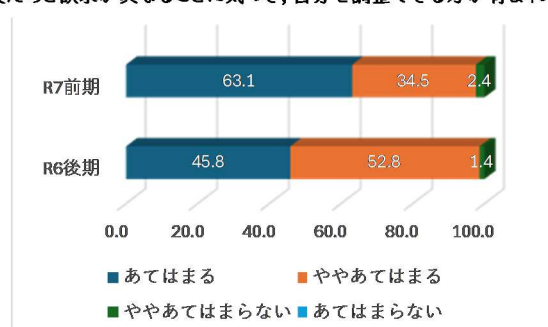
基本的な生活習慣を身につけ、豊かな心や健やかな体を養っている



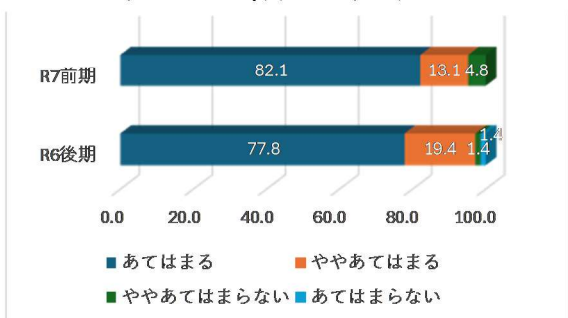
小学校との接続を見通した指導に努めている



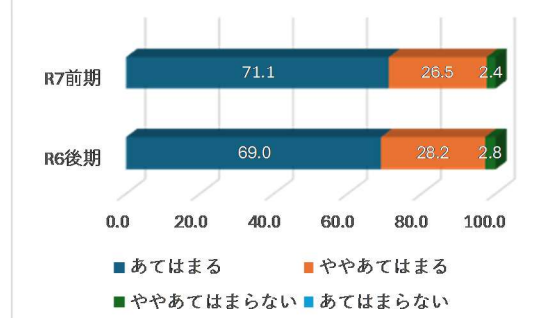
友だちと欲求が異なることに気づき、自分を調整できる力が育まれている



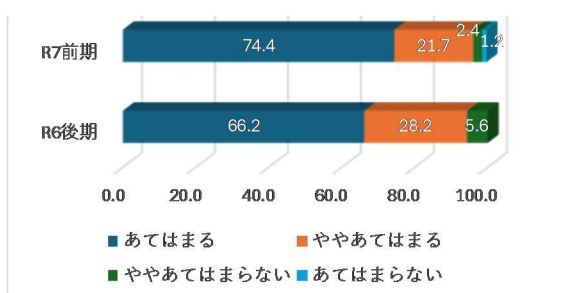
安全安心な食材や調理で、園児は給食を楽しみにしている



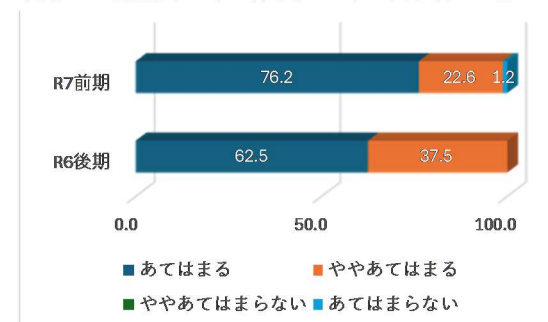
遊びの環境を整備し、安全管理に努めている



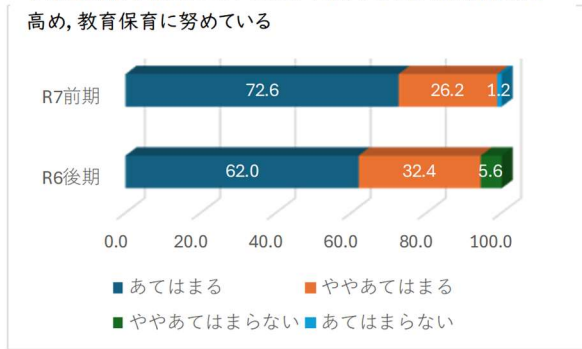
園だよりやクラスだより、ホームページなど情報の伝達公開に努めている



家庭との連携協力の下で、園児の日常の健康管理に努めている



事故等緊急事態発生時に適切に対応できるよう危機意識を高め、教育保育に努めている

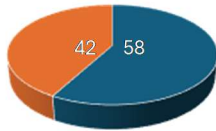


自由記述

- ・バス乗車時、コドモンの登降園時間の記録を朝8時半までにしていただきたい。
(登園時間が記録されると安心します。降ろし忘れに親が気づく手がかりになります)
⇒8時30分までに記録できるようにしていきます。
- ・自由参観日なのに日にち時間指定しなきゃいけないのは自由の意味をはき違えてます。
⇒原則本園は開かれた園としていつでも参観いただいても構いません。
- ・夏などの暑い時期は食中毒のリスクが高いためお弁当の必要性を再検討してもよいのではないかと。
⇒天候に左右され、献立も前の月に固定化されるため、事前の急な対応は難しいと思われます。
こども園でも保護者の皆様に食中毒に対する注意喚起をさせていただきます。ご家庭でもリスク回避のためご対応をお願いします(リスク軽減できる食材選びやおかずの割合など)。
農林水産省のホームページやお弁当の食中毒予防で検索するとお得な情報が得られます。
「ふたが保冷材になるお弁当箱」もあるようです。
- ・先生たちの研修は可能な限り、夏休みなどの時間外に行ってほしい。
⇒時間外は手当の対象となるため避けたいところです。こども園には「夏休み」という概念はありません。幼保連携型の乳幼児施設は日常的な保育がございます。
- ・先生もしっかりこどもたちを見てくれるので、安心して預けられています。
たくさんの経験をさせてもらえて有難いです。
⇒幼児教育は「うしろ伸ばしの教育」といわれ、こども園での経験が小学校以降の学習に活かされていくとも考えられています。これからこどもたちにはたくさんの経験を積ませたいです。
- ・いろいろと手のかかる我が子ですが、いつもよくしてくれてありがとうございます。
- ・園でのようすを教えてくださいたいです。よろしくお願いします。
⇒一人一人の人格を尊重し、たくさんの目でお子さんを見ていきます。何かお気づきの点がありましたら、連絡帳、登・降園の際にお伝えください。

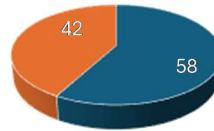
令和7年度職員アンケート集計結果

1. 教育及び保育が国の目標(考える子, 優しい子, 元気な子, おいしく食べる子)を目指した内容になっている。



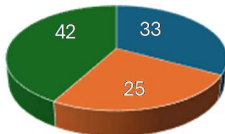
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

7. 一人一人の人格や個性を尊重し, 園児個々に寄り添った指導に努めている。



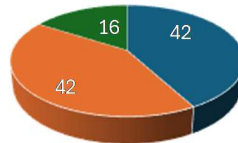
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

2. 教育及び保育が大町教育の基本理念(つながる教育～交流や地域の人材活用, 地域に触れる体験)に沿った内容になっている。



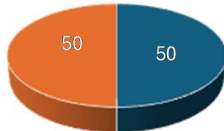
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

8. 小学校との接続を見通した指導に努めている。



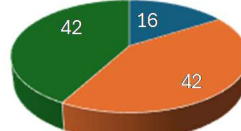
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

3. 園児の生命尊重及び危機管理を徹底し, 安全・快適な園運営を行っている。



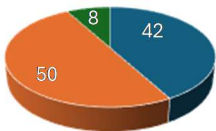
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

9. 友達とお互いの気持ちや欲求が異なることに気づき, 自分の気持ちを調整する力が育まれている。



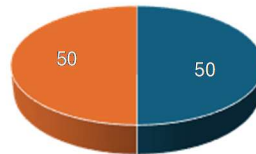
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

4. 豊かな自然の中で, 地域資源(ひと・もの・こと)を十分に活かした指導に努めている。



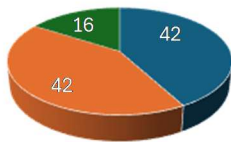
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

10. いろいろな友だちと伸び伸びと楽しんで遊んでいる。



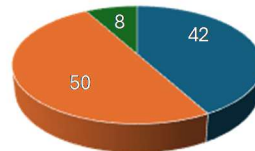
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

5. 環境と関わりながら「遊びこむ」ができるような体験を重視した指導に努めている。



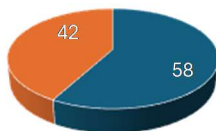
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

11. 自分の思いや気持ちを言葉や態度で伝えることができる。



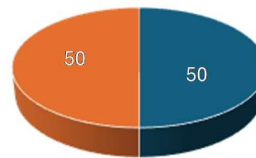
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

6. 基本的な生活習慣を身に付け, 「豊かな心」と「健やかな体」を養う指導に努めている。



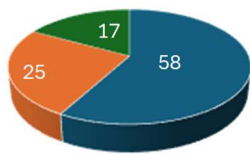
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

12. こども園の生活全体を通して, 楽しく過ごしている。



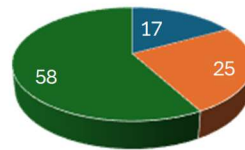
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

13. 保育に携わる者として適切な保育の指導（体罰や不適切な指導・言葉づかいなどの禁止）に努めている。



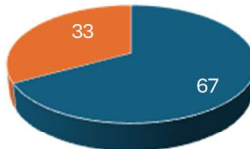
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

18. 職員が共通理解の下、教育及び保育に努めている。



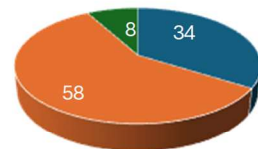
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

14. 特別に支援が必要な園児に寄り添った教育及び保育に努めている。



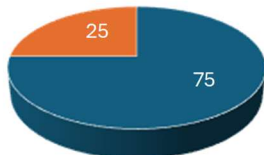
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

19. 地域や保護者の実情や要望による子育て支援活動の適切な実施に努めている。



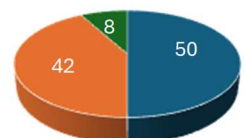
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

15. 安全・安心な食材や調理で、園児は給食を楽しみにしている。



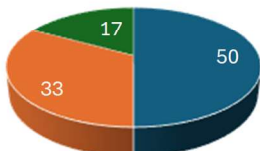
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

20. 家庭との連携協力の下で、園児の日常の健康管理に努めている。



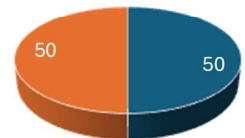
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

16. 遊びの環境（遊具や自然環境）を整備し、安全管理に努めている。



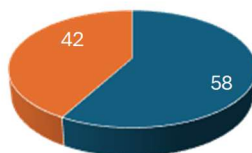
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

21. 事故等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理を高め、教育及び保育に努めている。



■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

17. 園だよりやクラスだより（ドキュメンテーションを含む）、ホームページなど情報の伝達・公開に努めている。



■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

全体的に厳しい結果になっています。

職員間の連携、特に報・連・相が不十分である結果になっています。行動において相互の声かけを定着させていきます。

他にも、自分の気持ちを調整する力の育成に課題がみえます。保育教諭の園児への対応について

職員間で交流していく必要があります。自己調整力は、自分の感情をコントロールする力で今後成長していく上で大事なものです。「感情の社会化」という言葉があります。「うれしい」「たのしい」「あんしん」といった感情は大人との対話を通じてこどもの中にポジティブな感情がインプットされていきます。一方で、「こわい」「おこってる」「ふあん」といったネガティブな感情は受け入れられにくく、処理するのが難しいと言われています。こどものいやな気持ちに大人がどう向き合っていくといいのか職員間で話し合う機会をつくっていききたいと思います。